

e-ソリューション社

e-ソリューション社は、“SI & ソリューション事業”、“デジタル放送サービス事業”、“コンピュータネットワークプラットフォーム事業”、“e-ネット事業”の四事業を柱に、最新のICT(Information and Communication Technology: 情報通信技術)の提供にとどまらず、お客さまの持続的な成長と繁栄を実現するための知恵とソリューションを、タイミングよく供給し続ける“システムとサービスの総合提供会社”を目指しています。

“協創(Collaborative Innovation)”が私たちの事業に共通する基本姿勢です。常にお客さまの“声”に触れ、課題や要望を共有、リスクをも共にして、数ある可能性の中からもっとも効果が期待できる解決のための具体策を提言し、システムの実現にあたっては最後まで責任を全うする、そして結果としてお客さまやビジネスパートナーさまからご評価いただける価値を創造することが、“協創”を実践する姿勢です。シックスシグマ手法を取り入れた“経営変革2001運動(MI運動)”を通じて、e-ソリューション社自身が、ICTを利用する知恵を持ったNet-Readyな組織であることを実証する努力を継続しながら、その成果をお客さまに提供していきます。

統括技師長 飯塚 まとひ

## 1 Webサービス・電子自治体

### EC調達・販売ASP e-ingBiz.com<sub>TM</sub>



e-ingBiz.com<sub>TM</sub>の概要  
Overview of e-ingBiz.com<sub>TM</sub>

e-ingBiz.com<sub>TM</sub>は、当社で推進している調達改革のノウハウを集約し、コストダウン、リードタイム短縮を支援するEC(Electronic Commerce)調達機能と、販売の効率化を図るEC販売機能を備えたASP(Application Service Provider)である。開発購買を推進する仕組みである電子入札やインターネット経由の受発注を伴うWebEDI(Electronic Data Interchange)といった調達機能に加え、エンジニアリングコラボレーションを実現する各種機能や、仕様書の授受を伴うEC販売機能を持っている。

既に、バイヤー企業30社以上、サプライヤー企業1,800社以上にご利用いただいている。当社府中事業所では電子入札により、17%のコストダウンと30%のリードタイム短縮の効果を上げている。今後も顧客ニーズに合わせた機能拡張を行い、社内・社外の調達・販売活動を支援していく。

### e-Learningソリューションサービス



MS IIS, MS SQL Serverはミドルウェア

ingelC.comサービス  
ingelC.com Service

インターネットを活用した人材教育サービス e-Learningソリューションサービスは、企業教育を支援するe-Learningシステム、コース、コンサルティングをお客さまに提供している。

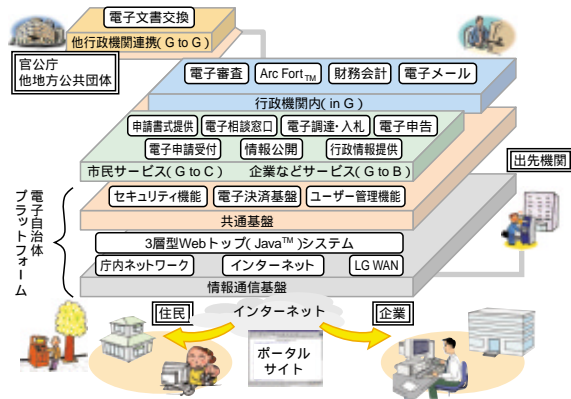
当社保有のコースをインターネット経由でご利用いただくASPサービス“ingelC.com(インギーエルシードコム)”や、イントラネット構築、お客さま固有教材の受託作成、当社の人材教育ノウハウに基いたコンサルティングなどを用意している。当社内でも内定者教育、遵法教育など社内教育ツールとして活用している。

## 行政文書管理システム ArcFort™

行政文書管理は、“電子情報を紙情報と同様に取り扱う”電子政府構築の核となる部分であり、ArcFort™は、実証実験で得られたノウハウと当社の特長ある要素技術を生かして開発した行政文書管理システムである。

通常の收受/供覧、起案/決裁のほか、引上げ、後閲など行政の現場ニーズを実現したワークフロー、暗号技術を応用した電子文書原本性保証ファイリングなどを特長としている。ArcFort™は、情報公開、文書交換、電子申請と連携するほか、基幹システムの電子決裁基盤としても注目されており、2001年度は大規模・先進自治体を中心に受注が続いている。

関係論文：東芝レビュー .56, 12, 2001, p.52 - 55.



G : Government B : Business C : Citizen  
LG WAN : Local Government Wide Area Network

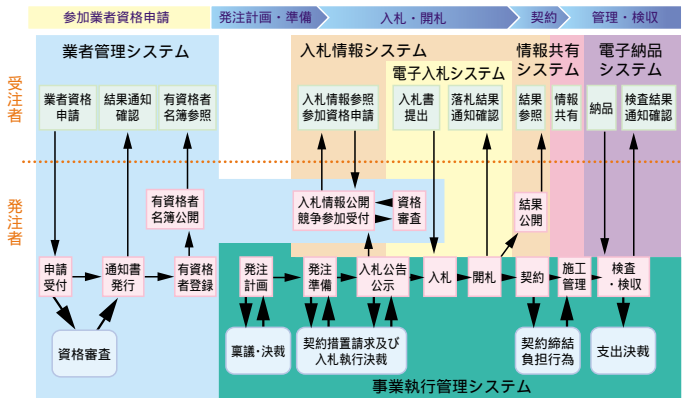
電子自治体システムにおけるArcFort™の位置づけ  
Positioning of ArcFort™, as part of electronic local government system

## 電子調達システム

電子調達システムは、工事、業務の事業執行情報を共有データベース(DB)で管理し、一連の発注・契約業務を管理するシステムである。

このシステムでは、従来、紙中心で行われてきた公告・公示、各種申請、入札参加・実施など、受・発注者間の手続きをインターネット経由で行うことによって、業務の効率化と調達の透明性、公正性、公平性確保を可能にした。更に共有DBを介して、既存システムとスムーズに連携できるほか、電子入札コアシステムの利用も含め、受・発注者双方に最適な電子政府・電子自治体を実現するための中核システムとなる。

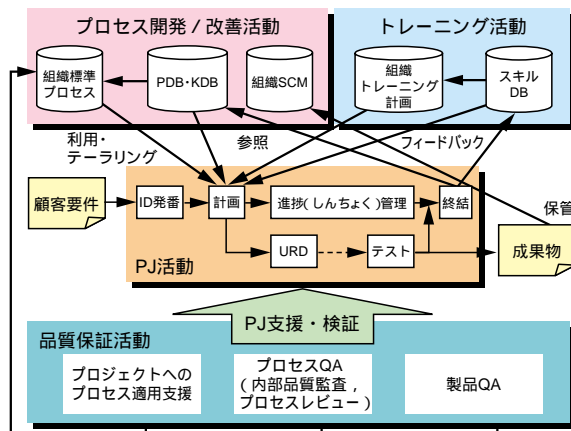
関係論文：東芝レビュー .56, 12, 2001, p.48 - 51.



調達業務フローと電子調達システムのコンポーネント  
Procurement workflow and components of electronic procurement system

## 当社ISセンター及び東芝システムクリエイタ(株)におけるCMMレベル3認定の取得

当社ISセンター及び東芝システムクリエイタ(株)は、ソフトウェア開発における品質問題解決の一環として、近年日本政府としても導入検討に入った米国カーネギーメロン大学で提唱されているCMM(能力成熟度モデル:5段階レベル)のレベル3認定活動を展開し、2001年6月に取得した。わが国での取得企業は、数社を数える程度の高水準である。これは、当モデル提唱のフレームワークを両組織に適合するように改造したものである。その結果、欠陥数、後戻り作業工程は従来に比べ半減し、組織内のモラルの向上が実現したものである。更に、これを定着させることにより、アドホックな作業形態からプロセス中心の統制のとれた自律型組織へのパラダイムシフトを実現する。



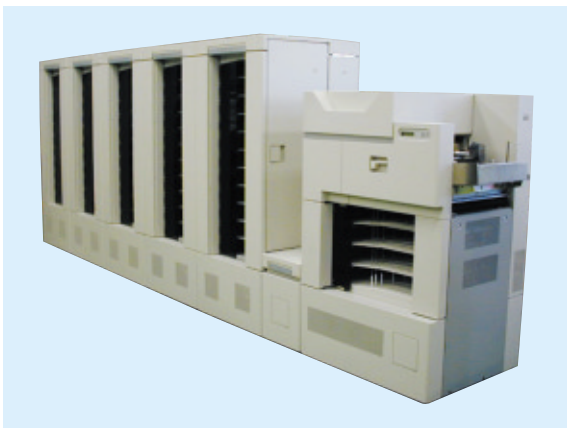
フィードバック

QMS : Quality Management System ID : Identification  
PDB : Project DataBase KDB : Knowledge DataBase  
URD : User Requirement Definition QA : Quality Assurance  
PJ : Project SCM : Software Configuration Management

品質管理システム実装概念  
Outline of quality management system

## 2 コンピュータ&ネットワークシステム

### 超高速ロバストスキャナ S7000



超高速ロバストスキャナS7000  
S7000 high speed robust scanner

金融機関などで数多くの要求があるソータ機能付き高速イメージスキャナ市場において、国内トップクラスの高速読取り(A4判帳票:200枚/分, 公金帳票:300枚/分)と、様々なサイズや紙厚の帳票の混在搬送を実現した高速・多機能スキャナS7000を商品化した。

最大A3判帳票まで読取り可能で、また帳票継足し機構による帳票の連続読取りや、最大50ポケットまで接続可能なソータ機構による帳票仕分け処理など、豊富な機能を用意した。更に、高精度認識ソフトウェアOCR2000iと組み合わせることで、最大1,000種類の帳票の自動識別を可能にした。

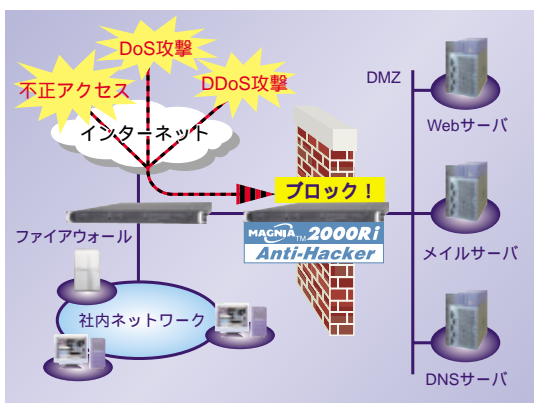
### ケーブルモデム PCX2500( DOCSIS 1.1準拠)



ケーブルモデム PCX2500( DOCSIS 1.1準拠 )  
PCX2500 cable modem (DOCSIS 1.1 compliant)

ケーブルモデムは、家庭内からCATV(有線テレビ)網を介して高速にインターネットにアクセスするための機器である。PCX2500は業界トップで、米国CableLabs®のDOCSIS(Data Over Cable System Interface Specifications)1.1仕様に適合する機種として、2001年10月に認定を取得した。DOCSIS 1.1は従来の1.0仕様のセキュリティ機能及びQoS(Quality of Service)機能を強化した仕様で、音声や動画像などマルチメディアデータのサービスを高品質で行うことができる。今後はこの機能を使い、従来のケーブルモデムにVoIP(Voice over Internet Protocol)などの機能を追加した製品の開発を進めていく。

### インターネットアプライアンスサーバ MAGNIA™2000Ri/Anti-Hacker



DMZ(Demilitarized Zone): 非武装地帯

MAGNIA™2000Ri/Anti-Hackerによるネットワーク攻撃防御システム

MAGNIA™2000Ri/Anti-Hacker intrusion blocking system

CodeRedやNimdaなどのワームによるWebサーバに対する攻撃をブロックし、Webサーバの安全性を高めるアプライアンスサーバ MAGNIA™2000Ri/Anti-Hackerを開発した。

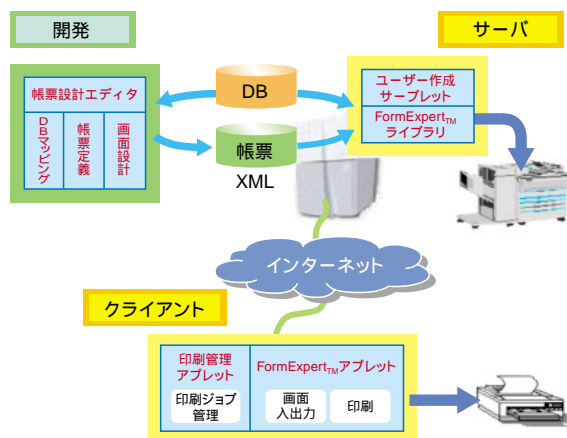
このサーバは、Webサーバに送られてくるパケットをチェックすることにより、ホームページの書替えやパスワード盗難のような不正アクセスを検出し防御する。また、Webサーバの通信状態や負荷状態を監視することにより、Webサーバに過剰な負荷をかけ、Webサーバ機能をダウンさせるDoS(Denial of Service: サービス妨害)攻撃やDDoS(Distributed DoS: 分散型サービス妨害)攻撃を検出し防御する。



## Web帳票ミドルウェア FlyingServ™ FormExpert™

ネットビジネス環境で、企業の業務に必要な帳票処理を実現するためのWeb帳票ミドルウェアFlyingServ™ FormExpert™を開発した。このミドルウェアは、処理をJava™アプレットで行うことで、Webクライアントで、単一の帳票フォーマットにより画面表示、データ入力、処理印刷ができるようになっている。このJava™アプレットは、Web環境での様々なプリンタへの高精度の印刷を実現している。また、オフィスサーバTP90Fの印刷管理技術を生かし、ページ抜けの発生しない高信頼の印刷機能や、印刷ジョブ管理機能、メッセージ管理機能などを実現し基幹業務に対応している。更に、入力データや帳票フォーマットは、インターネットのデータ交換形式として普及しつつあるXML( eXtensible Markup Language )にも対応しており、異なるシステムから送られてきたXMLデータを帳票出力するなど、システム間の連携も可能にしている。

関係論文：東芝レビュー . 56 ,11 ,2001 ,p.7 - 10.

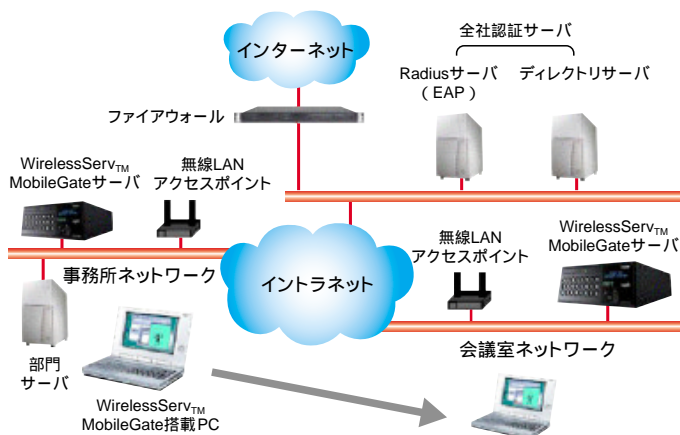


FlyingServ™ FormExpert™のシステム構成例  
Example of FlyingServ™ FormExpert™ system configuration

## ワイヤレスオフィス構築ミドルウェア WirelessServ™ MobileGate

IETF( Internet Engineering Task Force )の規格RFC2002 ,2003に準拠したモバイルIP( Internet Protocol )機能 ,トリプルDES( Data Encryption Standard )による暗号化機能を備えたWirelessServ™ MobileGateを開発した。

この商品によりIEEE( 米国電気電子技術者協会 ) 802.11b準拠の無線LAN環境下でノートPCを持って社内を移動しても、移動先で事務所のネットワーク環境と同一の環境が利用でき、無線LAN区間とイントラネット内の盗聴、改ざんなどに対するセキュリティを確保できる。また、IEEE802.1xに準拠した無線LAN機器と組み合わせると、無線LANアクセスポイントの無断使用も防止できる。



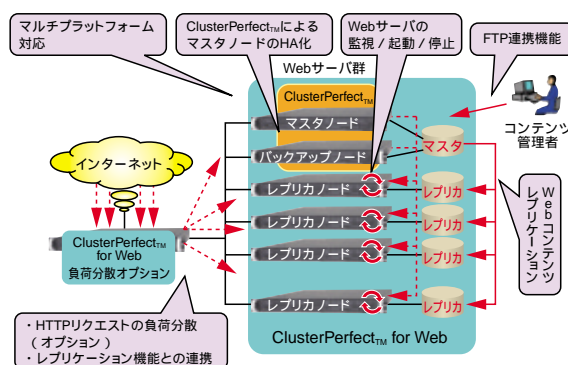
Radius : Remote Authentication Dial-In User Service  
EAP : Extensible Authentication Protocol

WirelessServ™ MobileGateの利用環境  
Typical network configuration of WirelessServ™ MobileGate

## DNCWARE™ ClusterPerfect™ for Web

Webサーバの性能と可用性を高め、かつコンテンツ管理の負担を軽減させるクラスタソフトウェアを開発した。

Webサーバの性能と可用性を向上させるために、負荷分散クラスタを構築するケースが増えている。しかし、サーバ数やコンテンツ更新頻度の増加に伴い、Webサーバのコンテンツ管理が大きな負担となっている。この商品は、マスタノード上のコンテンツ更新に連携してコンテンツの自動レプリケーションを行うことにより、コンテンツ管理を容易にする。また、HTTP( HyperText Transfer Protocol )リクエストの負荷分散とWebサーバの状態監視により、Webサーバの性能と可用性を向上させる。



FTP : File Transfer Protocol  
HA : High Availability

DNCWARE™ ClusterPerfect™ for Webが提供する機能  
Functions of DNCWARE™ ClusterPerfect™ for Web

## ビジネス電話システム Strata™ CTX670



ビジネス電話システムStrata™CTX670  
Strata™CTX670 business telephone system

IT(情報技術)の進展により、ビジネス電話システムへの要求機能がVoIPやCTI(Computer Telephony Integration)など多様化してきたのに対応し、ビジネス電話システムStrata™ CTX670を開発した。このシステムは、CTI機能でLANを介して汎用サーバ上のアプリケーションと連動することができる。更に、専用線ネットワーク機能により、各事業所に設置されたシステムが、仮想的に一つのシステムとして内線接続や各種サービス機能が利用でき、顧客の利便性向上と通信費低減が図れる。ソフトウェア開発にはオブジェクト指向技術を採用し、顧客要求に迅速に対応できるようにした。

関係論文：東芝レビュー .56, 11, 2001, p.66 - 69.

## 国土交通省 中部地方整備局向け 洪水予報センターシステム



洪水予報センター  
Flood forecast center

当社は、中部地方整備局向けに、中部管内一級河川の雨量や水位の数値情報及び監視カメラの生映像を、光ケーブルなどを利用して迅速に収集し複合処理する洪水予報センターシステムを構築し納入した。

主な特長は、次のとおりである。

- (1) 数値情報と映像を8面マルチプロジェクタ上で複合表示し、5面のプラズマディスプレイにて補足表示を行った。
- (2) 運用状況をコンサルティングすることにより機能的なレイアウトを再構築し、高解像度の表示装置や昇降型会議机を導入した。
- (3) 河川情報システムのエンジニアリングワークステーション( EWS )をPC( Web )化し、ネットワークを高速化( ギガビットイーサ )の導入した。
- (4) 表示切換えソフトウェアを共通・標準化した。

## 128 QAM大容量デジタルマイクロ波無線装置( 自営通信網用 )



128 QAM大容量デジタルマイクロ波無線装置( 自営通信網用 )  
128 QAM digital microwave radio system

官公庁や電力会社では、画像などを伝送するニーズが増加しており、自営通信網用デジタルマイクロ波固定局における伝送容量の増大化を志向するようになった。当社は、このような状況に対応し、伝送容量を倍増したデジタルマイクロ波無線装置を開発した。

変調方式は、従来公布されていた16 QAM( 直交振幅変調 )方式( ~ 52 Mbps )に追加された128 QAM方式( 104/208 Mbps )を採用した。変復調部は、アナログ回路を調整する従来方式から、回路を全デジタル化してそれをソフトウェアで制御する方式に替え、無調整化及び128 QAMで必要な高精度化を実現した。また、ソフトウェア制御の自動等化器を採用し、伝送特性の変動を補償して高品質伝送を実現した。

### 3 ソリューション&デジタル放送

#### 情報共有コラボレーションサイト C-CommerceSiteの構築

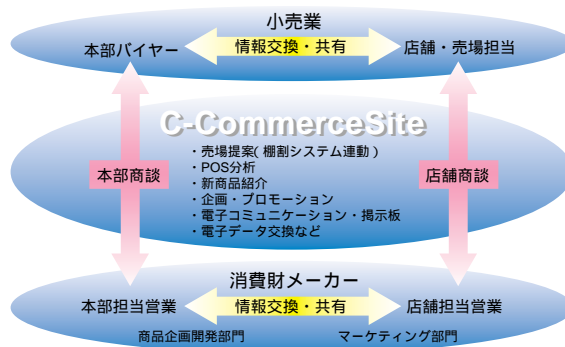
企業間及び企業内における情報共有と業務共有を実現するインターネットサイトを構築した。

開発した業務テンプレートは、消費財メーカーと小売業間の業務を徹底的に分析し設計しており、業務を加速させるとともに円滑な相互コミュニケーションを支援する。

これによりメーカー側の新たな価値創造と、小売業側の魅力ある売場作りに大きな効果を発揮する。

更に、この業務テンプレートの採用は、システム導入コスト低減と工期短縮を実現しており、業務テンプレートの追加・変更により、柔軟かつスピーディーな他業務への対応も可能である。

情報共有による企業間・企業内コラボレーティブオペレーションを実現！



POS : Point Of Sales

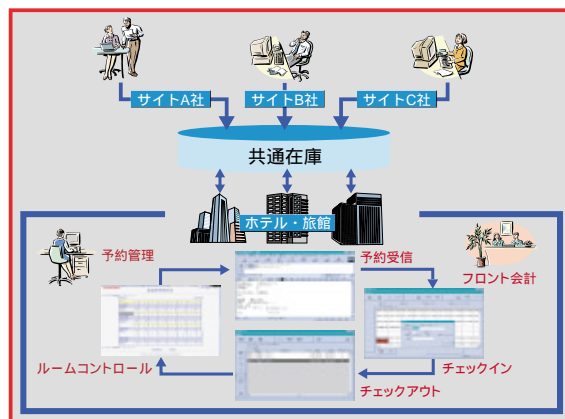
Collaborative commerce siteの概要  
Outline of collaborative commerce site

#### インターネットホテルソリューション RoomAgency™

RoomAgency™は、ホテルや旅館の空室情報を一元管理し、Webサイトや企業のイントラネット向けにホテル予約コンテンツを提供する。

主な特長は、次のとおりである。

- (1) Webサイト向けの予約コンテンツをモジュール化し、サイトの特長を生かした柔軟な連携が可能
- (2) ホテル既存のホームページに予約機能をASPで利用でき、ホテルの基幹システムとの連携も可能
- (3) 企業のイントラネットに掲載する際には、企業契約料金を掲載
- (4) デジタル放送におけるテレビコマースへの発展を意識した設計



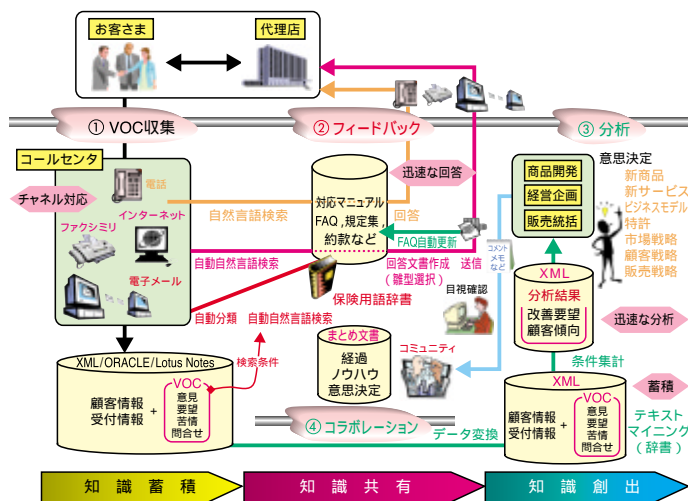
RoomAgency™の概念  
Concept of RoomAgency™

#### 保険業向け ナレッジソリューション

保険業向けに、コールセンター連動型 VOCMeister™、現場/業務連動型 PMRMeister™のナレッジマネジメントシステムを開発した。

これらは、お客さまとのマルチチャネル対応、お客さまの声収集、定性・定量分析、分析結果からの新知識創出の四つの機能を備えている。収集したお客さまの声をXML化し、テキストマイニングによりその傾向と要因を分析、新商品開発や新市場開拓への支援をする。また、お客さま対応履歴管理、対応事例検索、簡易分析による現場/業務での施策立案への支援をする。

関係論文：東芝レビュー .56 ,11 ,2001 ,p.27 - 30.

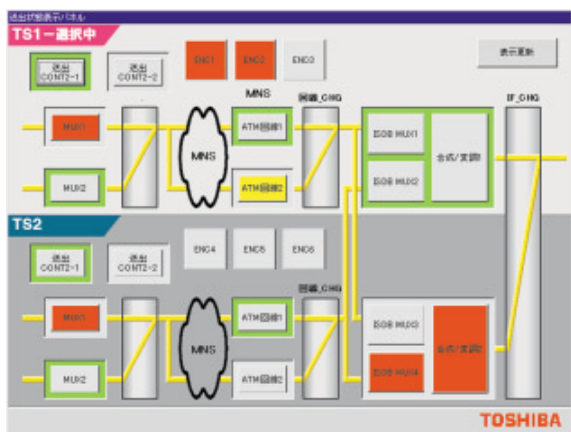


VOC : Voice Of Customer  
FAQ : Frequently Asked Question

VOCMeister™の機能  
Functional outline of VOCMeister™



## CSデジタル放送送出システム



ATM : Asynchronous Transfer Mode    IF : 中間周波数  
 CHG : 切換え                            MNS : 基幹ネットワークサブシステム  
 CONT : コントローラ                    MUX : 多重化装置  
 ENC : 符号化装置                        TS : Transport Stream

状態表示画面  
 Status display

CS(通信衛星)デジタル放送システムとして、委託事業者側の番組(テレビ,データ放送)送出システム及び各委託事業者からの番組を符号化多重し、変調後アップリンクに渡すプラットフォーム設備を受注した。

プラットフォーム設備の特長は、次のとおりである。

- (1) 各委託事業者からの編成データを一元管理し、必要なシステムに配っている。
- (2) テレビ信号は、統計多重を行い、送出レートの有効活用を行っている。
- (3) 設備が東京都と茨城県に分かれるが、遠隔監視及び切換制御を可能としている。

## 地上デジタル放送用送信機



3 kW地上デジタル放送用送信機(空冷)  
 3 kW digital terrestrial transmitter (air cooled)

地上デジタル放送用送信機は、2003年の放送開始に向けて商品化が進められている。地上デジタル放送用の送信機向けとして新たに開発した非線形補償器は、送信機の入出力信号をデジタル的に比較し、増幅部の非線形特性を適応的に補償する。

地上デジタル放送用送信機は、非線形補償器を装備することにより、次の特長を備えている。

- (1) 高性能：相互変調が - 50 dB以下
- (2) 高安定：出力安定度が ±0.1 dB
- (3) 高効率：送信機効率が12.5%以上(冷却系含む)

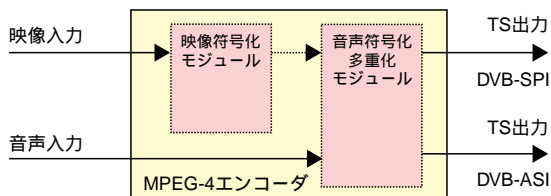
地上デジタル放送用送信機は、上記の項目について他社との差異化を実現し、受注活動を優位に進めている。

## MPEG-4リアルタイムエンコーダの開発

### ビットレート配分例

- ・ 280.9 kbps(QPSK1/2 1 Seg)    ビデオ = 100 kbps, オーディオ = 32 kbps
- ・ 561.7 kbps(QPSK1/2 2 Seg)    ビデオ = 384 kbps, オーディオ = 48 kbps
- ・ 842.6 kbps(QPSK1/2 3 Seg)    ビデオ = 384 kbps, オーディオ = 192 kbps

### 構成図



QPSK : 4相位相変調                        SPI : Synchronous Parallel Interface  
 Seg : Segment                            ASI : Asynchronous Serial Interface  
 DVB : Digital Video Broadcast

ビットレート配分例と構成図  
 Example of bit-rate assignment and configuration

放送のデジタル化に伴い、映像音声信号を圧縮して送る必要が生じ、特に低レートで送る方法としてMPEG-4 (Moving Picture Experts Group 4)がある。

この装置は映像信号をMPEG-4、音声信号をMPEG-2-AAC(Advanced Audio Coding)の各方式でリアルタイムで圧縮し、MPEG-2-TS(Transport Stream)という方式で多重出力する装置で、リアルタイムで動作する装置としては世界初の製品である。

MPEG-4の映像圧縮部の開発には、規格策定に貢献してきた当社研究開発部門の成果を流用しており、2001年11月に行われた地上デジタル放送の公開実験では、低レートでの高画質が多くの見学者の注目を集めた。今後は放送局向け仕様を盛り込み、更に開発を進めていく。

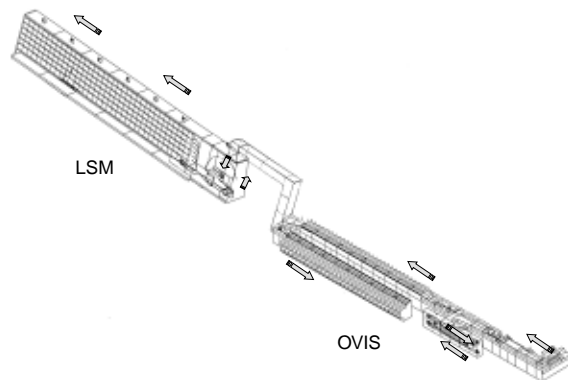
## 4 省力機器

### 韓国向け 郵便区分システム TT - 1021

これは韓国通信省向けの郵便区分システムで、定ギャップ取出し高速搬送、郵便番号読取り、バーコード読取り、判読できない郵便物を処理するオン/オフラインビデオコーディングシステムなどの最新技術を採用した郵便自動化システムである。機械は、区分システム(OVIS)とバーコード区分機(LSM: Letter Sorting Machine)を搬送ブリッジ(OHC)で結ばれた全長約40mのシステムで構成している。今回2度目の受注で、LSMはグローバル化対応している。

主な機械仕様は、次のとおりである。

- (1) 処理能力：30,000通/時間以上
- (2) 騒音：70 dBA以下



郵便区分システム TT - 1021  
TT - 1021 mail processing system

### 海外向け 現金処理機 CS700

2002年から欧州単一通貨ユーロが流通するのに合わせて欧州市場に新規参入するため、海外向け現金処理機CS700を新規に開発した。

CS700は、現金処理会社や市中銀行で入金、整理業務に使用される。券種、表裏が混合した紙幣を660枚/分で取り込み、券種、表裏、真偽を判別して、6か所の一時集積庫又はカセットと最大2台接続可能な施封部に券種と表裏をそろえて区分し、施封部で100枚ごとに紙帯を巻く。CS700は従来機に比べ、サイズの異なる券の取扱い、処理速度向上、外観デザイン改善を実現しており、他国への展開も可能になる。



現金処理機 CS700  
CS700 currency sorter

### 顔照合入退室ユニット FacePass<sup>TM</sup>

事務所、マンションなどの入退室管理用途向け顔照合ユニットを開発した。照合アルゴリズムに当社独自の“動画像パターンマッチング方式”を採用し、顔の向きや立ち位置の違いに影響されにくい強い照合性能を実現した。

ユニットは、ユーザーの顔画像の取込みや表示のための操作部と、照合処理やドア制御を行う制御部で構成する。

主な特長は、次のとおりである。

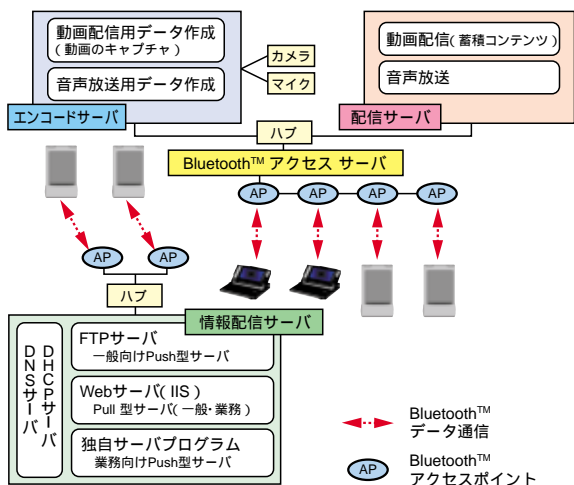
- (1) 登録人数：最大1,000人
- (2) 照合時間：約1秒
- (3) 照合精度：他人誤認識率 0.1%以下  
本人誤排除率 1%以下
- (4) 通行履歴：顔画像保存最大6万件



顔照合入退室ユニット  
Face identification terminal



Bluetooth™ 通信機能を用いた情報配信サービス実験



DHCP:Dynamic Host Configuration Protocol  
DNS:Domain Name System  
IIS:Internet Information Server

Bluetooth™ 実験システムの構成  
Configuration of experimental Bluetooth™ system

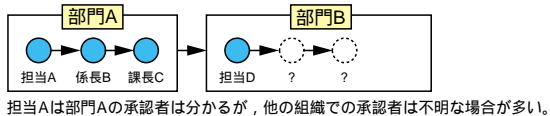
当社がプロモータ9社のうちの1社として推進している近距離無線規格Bluetooth™を通信手段に使い、情報配信と動画配信のサービス実験を実施した。

この実験では、携帯端末とアクセスポイント間の無線通信を実現するための環境及び機器の設定やデバイスドライバの調査を実施するとともに、簡単な設定だけで携帯端末で情報を受信できるツールの開発を行った。

また、アクセスポイントからの距離の影響、壁や扉などの障害物、人の数や動きの影響など、実際の業務においてシステム導入を検討するときに必要な基礎データを収集できたことが成果として挙げられる。

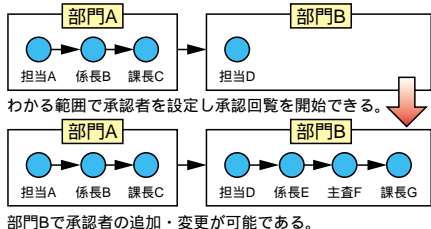
GEC(電子政府)総合文書管理システム

従来の固定的なワークフロー



担当Aは部門Aの承認者は分かるが、他の組織での承認者は不明な場合が多い。

ダイナミックワークフロー



部門Bで承認者の追加・変更が可能である。

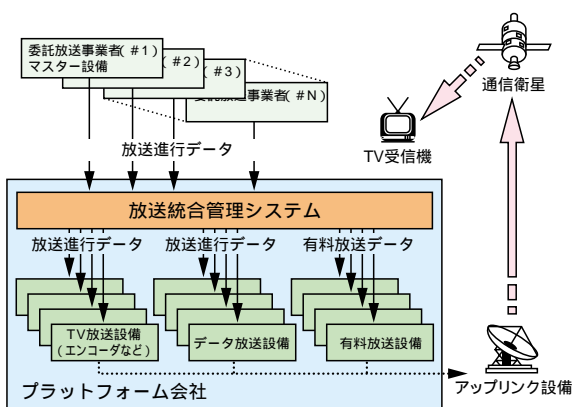
ダイナミックワークフロー  
Dynamic workflow

電子政府の核となるこのシステムは、官公庁特有のニーズ分析と関連要素技術により実現されている。

電子的な承認・回覧を行うためのワークフローでは、承認回覧開始後でも承認者の追加・変更を可能とするダイナミックワークフロー技術を適用し、従来の固定ワークフローでは実現困難な機能を満たしている。

例えば、官公庁では他部門も承認回覧先に含まれる場合があるが、他部門の承認者は把握できないことが多い。このシステムでは、各部門にて承認者を別途設定可能とすることにより利便性を高めた。また、ダイナミックワークフロー技術は官公庁以外でも広く適用できる。

CS110度デジタル放送向け 放送統合管理システム



放送統合管理システムを含む全体概要  
Overview of integrated broadcasting management system

CS110度デジタル放送を行うプラットフォーム会社向けの放送統合管理システムを開発した。

CS110度デジタル放送では、各委託放送事業者(放送局)が放送するための各種データをプラットフォーム会社に集結させ、放送統合管理システムからテレビ(TV)放送やデータ放送などを行う各サブシステムへ分配する。これにより、デジタル放送に必要な設備をプラットフォーム会社が一括管理することが可能となる。

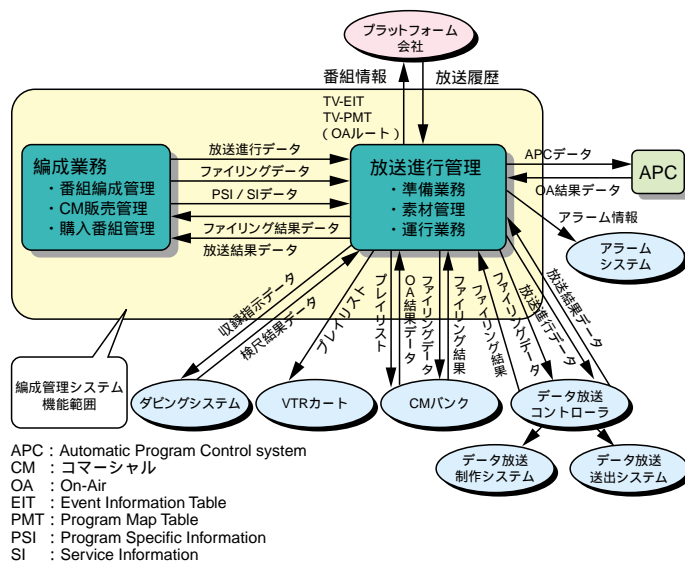
このシステムは、数十チャンネル程度の放送用のデータを統合管理して、円滑な放送運行を可能とすることを特長とする。

### CS110度デジタル放送向け 編成管理システム

CS110度デジタル放送を行う委託放送事業者(放送局)向けの編成管理システムを開発した。

従来のデータサーバシステムの機能をベースとし、放送進行管理機能、放送のための長期編成作成機能、及び各種下位機器の素材を管理する素材管理機能を備え、編成から放送進行までの管理を一括で行う編成管理システムである。

このシステムは、TV放送、TV連動データ放送、独立データ放送(CSデジタルで蓄積型データ放送を追加)の長期編成を扱い、かつ円滑な放送運行を可能とすることを特長とする。



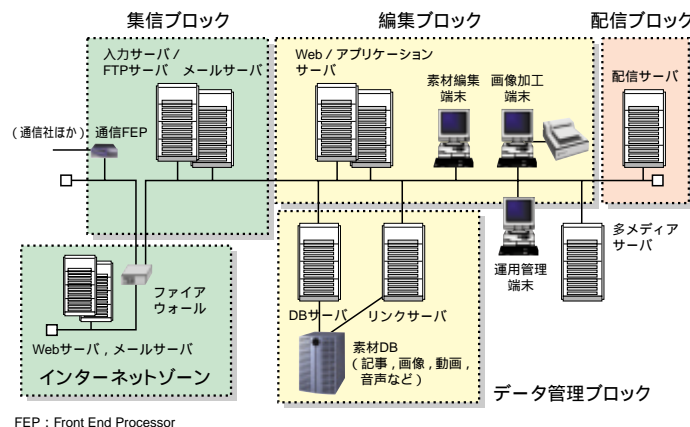
編成管理システムを含む全体概要  
Overview of program management system

### 新聞社向け 次世代素材管理システム

新聞社の資産であるニュース素材を新聞用途に限定した利用から、新規事業展開への再利用を容易にするクロスメディア対応統合DBシステムを開発した。

このシステムでは、各種の素材(記事、画像、動画、音声など)をテーマ単位にグルーピングして管理し、各種メディア(インターネット、携帯、CA(有線)TV、放送など)へのコンテンツサービスが提供できるようになっている。

また、マルチプラットフォーム上で動作させることを想定して、今後の業界標準データフォーマットとなるXMLで素材を管理している。



素材管理システムを含む全体構成概要  
Overview of news source management system

### 新聞社向け PC版編集者組版システム

新聞社で稼働しているPC版編集者組版システムは、記事、写真、見出しなどの素材入力から紙面レイアウト・出力を行うシステムである。

新聞社における編集者業務(整理デスク、面担業務)の詳細を分析し、操作・機能面での強化を図るとともに、従来ワークステーション(WS)上で稼働していたシステムをPC上で構築し、コストパフォーマンスを向上させた。特に地紋見出し作成機能、簡易エトキ組機能、大組上でのダイレクト訂正機能は面担業務に威力を発揮している。また、自動組版機能も強化し、決まり物や連載物の組版を容易に行えるユーザーカスタマイズ環境も整備した。



PC版編集者組版システムの画面例  
Example of newspaper layout system display